

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	22-303	慶應義塾大学 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
Predictors of 007 triphosphate concentrations in dried blood spots in persons with hepatitis C and active drug or alcohol use. C型肝炎および薬物・アルコール常用者における乾燥血液スポット中の007三リン酸濃度の予測因子。		
執筆者		
Brooks KM, Castillo-Mancilla JR, Morrow M		
掲載誌		
J Antimicrob Chemother. 2022 Apr 27;77(5):1396-1403. doi:10.1093/jac/dkac051		
キーワード	PMID	
服薬アドヒアランス、C型肝炎、血中濃度半減期	35194648	
要 旨		
<p>背景 ソホスブビルは細胞内で活性型である007三リン酸(007-TP)に変換される。現時点では、治療アドヒアランスと乾燥血液スポット(DBS)中007-TPとの関連、およびこの関係に影響を及ぼす因子は不明である。</p> <p>目的 ソホスブビルの治療アドヒアランスとDBS中007-TP濃度との関連を検討し、DBS中007-TPに影響を及ぼす因子を同定すること。</p> <p>方法 HCVまたはHIV/HCVの重複感染者で、自己申告による薬物の使用およびまたはアルコールを飲用有する患者を、1日1回投与のレディパスビル/ソホスブビルの12週間服薬アドヒアランスをモニタリングする技術ベースの2つのアプローチのいずれかに無作為に割り付けた。治療中は2週間ごとに採血を行った。DBS中の007-TPはLC/MSを用いて定量され、混合効果モデルを用いて解析された。</p> <p>結果 58人の参加者(男性78%、黒人21%、ヒスパニック/ラテン系22%、肝硬変26%、HIV感染78%)から合計337件の観察が得られた。DBSにおける007-TPの平均半減期は142時間(95%CI 127-156)であり、服薬アドヒアランスが10%増加するごとに濃度は7.3%(95%CI 2.2-12.6)増加した。DBS中の007-TP濃度の幾何平均(95%CI)は、アドヒアランスが50%以下、50%以上80%以下、80%以上のカテゴリー別において、301(247-368)、544(462-639)、647(571-723)fmol/punchであった。アドヒアランス、治療期間、年齢の増加、推算糸球体濾過率の低下は007-TPの上昇と関連し、最終投与からの期間の延長、男性、黒人、BMIの上昇は007-TPの低下と関連した。</p> <p>結論 007-TPはDBSにおいて半減期が延長し、アドヒアランスが高いほど濃度が上昇した。007-TPに影響を及ぼすその他の因子や、この指標の臨床的有用性を検討するためには、さらなる研究が必要である。</p>		